

美殿町通り都市景観まちづくり推進協議会（岐阜市）

中心市街地

商店街活性化・まちなみ

取組の背景

美殿町は、岐阜市の中心部、柳ヶ瀬の東側に位置し、シックなレンガ造りの舗装とガス灯が特徴の通り沿いに老舗の商店が立ち並ぶ。

昭和 62 年の、美殿町通りの道路整備の際に、自分たちの住む町を個性ある街にするために、地域住民が参加し、化粧道路を強く要望したことなどが契機となって「美殿町通り都市景観まちづくり推進協議会」が設立された。

平成 12 年に岐阜市の都市景観条例による都市景観形成市民団体の認定を受けたことで、市補助金の交付を受けソフト事業を中心に商店街活性化活動を展開。

取組の概要

美殿町通り推進協議会では、他の商店街とは異なる、味わいのある街を目指し、次の方針で活動を展開している。

- ・アーケードは設けない
- ・太陽、花、木など自然の季節性を取り入れ、緑豊かな商店街をイメージ
- ・過剰な装飾、ネオン、看板は撤去し、シンプルな統一性で老舗商店街を演出
- ・各個店、業種間の施設の落差を解消し、店のアンバランスを是正
- ・空き店舗の解消を図り、町風に合う業種の導入を図る
- ・文化的なイメージ強化を図る など

取組の内容

- ・かわら版「美殿」を発行
- ・美殿町商店街振興組合、美殿町まちづくり委員会（商店街振興組合の若手経営者の集まり）、自治会と連携して地域コミュニティを形成し、イベント等を共同で実施（まつりなど）
- ・商店街に対するニーズ等を把握するアンケート調査の実施
- ・先進地視察 など



美殿町夏まつり

成果

- ・商店街機関誌の創設・発行により、店舗やイベント情報を定期的効果的に発信
- ・地域にある団体の接着剤の役割を果たし、店主夫人を対象とした井戸端会議を頻繁に実施するなど地域コミュニティを強化
- ・これまで美殿町のイベントは夏祭りのみであったが、アンケート結果を基に、春祭りと秋祭りを追加・定番化し、賑わいづくりを創出
- ・平成 18 年度は「住みよく、安心して暮らせる町」を目標として、地域住民により“美殿町通りまちづくり協定”を確認する予定で、今後の美殿町の方向性を打ち出す予定

成果の要因

- ・推進協議会の副会長には自治会長や商店街振興組合関係者を充てることで、各団体間の連携を図るとともに、店主夫人を集めた井戸端会議や推進協議会の中から十数人の運営委員会を組織し、定期的に会議を行うなど情報

交換や地域コミュニティの強化を図った

- ・アンケート調査を実施し、商店街利用者のニーズの高いもので実現可能なものから具現化
- ・平成15年に発足した「岐阜市にぎわいまち公社」との連携
- ・岐阜大学地域科学部のまちづくりを学ぶ学生たちとの連携
- ・平成12年に制定された岐阜市景観条例の制定及び財政支援

今後の課題

- ・市から活動費助成があったが、18年度から助成がなくなったことにより活動が縮小している。(事業費で約78%減。かわら版の不定期化)
- ・商店の後継者問題、商店街振興組合や推進協議会の運営経費をどうしていくかが課題。

行政への期待

- ・市内、県内、全国のまちづくり成功団体と情報交換できるよう、ネットワークづくりをしてほしい。
- ・地域の特性をうまく引っ張り出せるように、そのために商店街は何をやるべきか、適切な助言をしてほしい。

この人にお話をうかがいました！

美殿町通り都市景観まちづくり推進協議会
会長 荻野喜弘さん

調査日：平成18年11月1日（水）
調査者：商業流通課 矢島、岐阜振興局 永田

美殿町MAP

